

医療福祉目指す沖縄の高校生 川崎医福大を訪問

授業内容や資格学ぶ

医療福祉分野への進
学を目指す沖縄県の高
校2年生25人が13日、



川崎医療福祉大の教員(右)から医療機
器について説明を聞く沖縄県の高校生

川崎医療福祉大(倉敷市)を訪れ、授業内容や取得できる資格について学んだ。岡山県内には15日まで滞在し、企業視察なども行う。高校生を全国の大学・企業に派遣して進学意欲を高めることを狙う沖縄県教委の事業で、岡山訪問は初めて。生徒たちは教員から学科・専攻のカリキュラムや診療放射線技師といった国家資格が取得可能なことを教わり、エックス線など機

器の操作法の説明も受けた。同大の沖縄出身の学生も参加し、生徒は「アルバイトで学費や生活費を稼ぎながら卒業できるか」と熱心に質問していた。夜には岡山大学院(岡山市)の中塚幹也教授(生殖医療)によるオンライン講義を受講。2日目以降は医療

用品メーカー・ダイヤモンド(同市)の視察、岡山県立大(総社市)での講義受講などを予定している。沖縄県立那覇高の内間あやらさん(17)は「将来は福祉職などを目指している。技術や心を学んで帰りたい」と話していた。

(山内悠記子)